

## 福祉文教常任委員会

令和4年1月19日（水）

### ◎審査案件

学校の部活動に関する現状の調査について

### ◎出席委員（8名）

委員長	加藤裕貴君	副委員長	石田久就君
委員	山崎彰則君	委員	保村幸二君
〃	石井友也君	〃	田中勝彦君
〃	鈴木敏弘君	〃	野村淳一君

### ◎欠席委員（なし）

### ◎正副議長

議長 飯田弘明君

### ◎議会事務局出席職員

事務局長	黒木主税君	事務局次長	細川貴志君
議事係長	川勝亜樹子君	議事係	石川夢菜君

### ◎傍聴議員 橘有三議員

午前10時6分 開会

○加藤裕貴委員長 ただいまから、福祉文教常任委員会を開会いたします。

お諮りいたします。

報道機関から傍聴の申出がございますが、これを許すことにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○加藤裕貴委員長 ご異議がありませんので、そのように決定いたします。

前回の本委員会において、皆さんに、国や一般質問等の経過資料を配付させていただき、本日の委員会までにご確認をお願いしていたところ です。

また、アンケートの内容については、正副委員長で案をつくらせていただいた上で、皆さんからのご意見をお聞きしたいということで、了承を得たところであります。

本日は、正副委員長でアンケートの案を作成しましたので、内容、配付方法等について、皆さんから、ご意見を伺ってまいりたいと思います。

まず、国は、部活動の地域移行に関し、令和5年度以降、休日の部活動の段階的な地域移行を図ること等を踏まえ、事業を進め、また、検討会議も行っております。

これは、地域におけるスポーツや文化芸術活動の環境整備を行うことにより、生徒にとって、望ましい部活動と学校の働き方改革の両立を実現させるものとしております。これらの国の方針を踏まえ、中学校の部活動の在り方についてのアンケートの案を正副委員長で、作成いたしました。

配付資料にアンケート案がございますので、ご覧ください。

対象者別に、生徒用、保護者用、教員用と3種類ございます。

次に、アンケートの内容ですが、お手元に配付いたしました資料にありますように、生徒用と保護者用、教員用の3種類があるかと思うのですが、皆さん、ご確認をさせていただいて、ご通覧いただいでよろしいでしょうか。

以上が内容となっております。

これについて、追加または修正すべき項目等ございませんでしょうか。

山崎委員。

○山崎彰則委員 この資料の中の生徒対象向けのアンケートの中身で、この設問の中の11番の全ての生徒が対象の箇所についてですが、まず、戻っていただいて2番のア、イ、ウでこれの内容が、アの所属している方は3から8の設問へというものはありますが、ア、イ、ウの全ての立場からは、11番のほうに誘導する形になっていると思うんですけれども、この11番の中の表現が、非常に子どもにはちょっと判断しにくい部分があるのではないかなと私は感じます。

生徒にとって、先生にとって、その判断を子どもに求めるのは、ちょっときついような気がしますので、この辺を少し精査されてはいかがかなと思います。

○加藤裕貴委員長 今の山崎委員からの11番の指摘については、また、正副委員長で調整

をさせていただきたいというふうに思います。

ほかの委員の皆さんから、何かございませんか。

保村委員。

○保村幸二委員 保護者対象のアンケートで、設問の5番ですが、米印でケを選んだ場合は、括弧内にその理由を記入と書いていますが、コを選んだ場合ではないかと思うのですが、いかがでしょうか。

○加藤裕貴委員長 今、保村委員からの指摘の点については、これは記載ミスですので、これは直ちに変更いたします。

ほかにごございませんか。

鈴木委員。

○鈴木敏弘委員 教員対象のアンケートですが、3番のイで手当が少ないとなっていますが、私の認識では、手当がないと思っているんですけれども、どうでしょうか。確認です。

○加藤裕貴委員長 正副委員長で確認しますが、手当は、ないということが正しいと思いますので、少ないではなく、ないと修正させていただきます。

ほかにも、委員の皆さんからご指摘等ございませんでしょうか。

野村委員。

○野村淳一委員 アンケートは、時期的にはいつごろとか、いつまでとか、何かめどみたいなものはありますか。

○加藤裕貴委員長 委員会等でも、時期をあまり遅らせるのもということで、少しスピード感を持って行っていくという意味で、一応、報告を3月の第1回定例会中に行えるようなスケジュールで動いております。

アンケートについても、今日、確認等をいただきまして、その指摘いただいた分について、正副委員長で協議をさせていただいて、修正等を加えたものを、この後、学校等に説明に伺って、了承いただき次第、このアンケートを大体1週間程度の収集期間といいますか、そういったものを設けた後に、集約をしていくというような、スケジュールで動き、早ければ今月の1月下旬くらいには、アンケートを実施して、新年度には、児童・生徒の皆さんが部活等に、もしかしたら今後影響が出るかもしれませんが、年度が始まってからというわけではなくて、ぎりぎりにはなるのですが3月中の報告というのを目指しているというような形です。

野村委員。

○野村淳一委員 それは、先生方が子どもたち一人一人に配るということですか。それと学校で収集するんですか。

○加藤裕貴委員長 ここで、暫時休憩いたします。

---

午前10時9分 休憩

午前10時10分 再開

---

○加藤裕貴委員長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

野村委員。

○野村淳一委員 アンケートそのものはこれからだと思いますが、ちょっと気になっているのは、我々自身としては、地域移行について、子どもたちも保護者も先生もどう認識しているかということが一番重要だと思っているんですけど、教育委員会は、教育委員会でアンケート調査の実施っていうものは、やっていないですか。

○加藤裕貴委員長 暫時休憩します。

---

午前10時11分 休憩

午前10時19分 再開

---

○加藤裕貴委員長 休憩前に引き続き、会議を開きます。

野村委員からの質疑でありますけれども、教育委員会のほうでも、そういったものを検討したという経緯はあったと伺っております。たまたま時を同じくして、本委員会でも、そういったアンケートを取るといようなことが重なったといような認識であります。

ほかにこのアンケートの部分について、追加すべきところや修正すべきところはございませんでしょうか。

田中委員。

○田中勝彦委員 もう少し簡素化とか簡単なアンケートには、ならないかなと思って、子どもたちにとって、ちょっと大変かなと思っております。

○加藤裕貴委員長 田中委員から指摘がありましたけれども、一応、正副委員長でまた協議は進めます。

この後、アンケートの手法について、どんな手法にするかというのを説明させていただこうと思っているんですが、その中で、今ペーパーで皆様に配布して確認をしていただいておりますが、このままペーパーで配布するのかですとか、ネット等を使ってチェックをつけて設問に答えていく方式にするのか等は、また関係の皆さんと協議をして、分かりやすい答えやすいアンケートというものをつくるようには進めていきたいというふうに思います。

山崎委員。

○山崎彰則委員 先ほどのアンケートのところで、ちょっと付け加えさせていただきたいのですが、通常、アンケートを取るときは、設問があつて、そこから選択式になっていく場合は、当然、数のカウントという形でアンケート結果が数字で表れる部分だとは思いますが、通常、アンケートを取る際は、最後によく記述式で、例えば、

その他ご意見とか、考え方を教えてくださいというような形の項目があると思いますので、そのような項目があってもよろしいんじゃないかなと私は思うんですけど、いかがでしょうか。

○加藤裕貴委員長 山崎委員から指摘いただいた、その他、自由記載欄という部分に関しては、私も、あったほうがいいと思いますので、正副委員長で協議をさせていただきたいと思います。

それでは、本日は、橘議員が傍聴に来られていますので、ご意見をお伺いしたいと思いますが、皆さんよろしいでしょうか。

(一同了承)

○加藤裕貴委員長 ご異議がありませんので、ここまでのところで、橘議員から何かございましたら、発言を許したいと思います。

○橘有三議員 アンケートなんですけれども、生徒対象のみに、参加する中学生の皆さんや先生方の負担等、課題も多くありということがアンケートのところに入っているのです。ほかの保護者対象や教員対象には入っていないのですけれども、やはり子どもにとって、私がもし子どもだったら、部活動は、私たちは楽しいけれど、先生方にとっては、負担なんだということが先頭に出てくると、非常にやっぱり気持ちとして、ちょっと私はどうかなっていうふうに思います。

まず、先頭には、紋別市においてのよりよい部活動のためってというような、何かそういうような、子ども向けに言葉があったほうが、多様な意見が出てくるんじゃないかなって感じがいたします。

○加藤裕貴委員長 分かりました。ありがとうございます。

次に、アンケートの手法ですが、メール等を使って、グーグルフォームを使う方法、また、紙による配布方法、いずれかしたいと思いますと思いますが、その点について皆さんいかがでしょうか。

田中委員。

○田中勝彦委員 紙ベースでもいいんですが、もう少し簡素化したアンケートで回答しやすいもののほうがいいのではないかと、ちょっとこれだと、子どもたちに負担かなと思います。

○加藤裕貴委員長 石井委員。

○石井友也委員 紙ベースでやるのか、それともネットでやるのかということで、現状でも、学校では、そういうメールがもう既にできていて、それを父兄に、いろいろな情報を通信で、要は、配信しているんですけど、中学校や小学校に大体行き渡っているはずなので、あとは、それに協力してもらって使えるんだったら、私も入ってますけれど、それに載せてもらえるのは、学校側の判断なので、そこは、いかどうかっていう感じで聞いてみたらいいんじゃないかと思います。それはそんなに難しいものです。

○加藤裕貴委員長 野村委員。

○野村淳一委員 例えば、そういう環境がある人やない人がいるのだったら、両方の手法となるのだろうけれど、そういう環境が、整っているのであれば、メール等を使ってという手法のほうがいいですよ。ぜひ、協力をお願いしていただきたいと思います。

○加藤裕貴委員長 分かりました。

今、委員の皆さんからの意見もありましたので、それではそのようにいたしたいと思います。

それでは、次に、本日、委員会終了後、正副委員長で教育長及び紋別市小中学校校長会の方へ、部活動に関するアンケートの実施等について、説明に伺いますので、ご了承願います。

(一同了承)

○加藤裕貴委員長 ここで、生徒、保護者、教員のアンケートの手法について、今、皆さんにご提案をお願いしたところでありますけれども、そのほかに、PTA会長、学校長、そして、新聞等にもありましたように、部活が設置されていないために、最寄り学校ではない、本来は、紋別中学校に通う生徒の方が、潮見中学校に通っているというケースがありますので、その生徒本人と保護者の方については、お話を伺える機会がありましたら、正副委員長で、聞き取りをさせていただきたいと思いますが、その点についてもあらかじめ、皆さんご了承いただいてもよろしいでしょうか。

(一同了承)

○加藤裕貴委員長 それでは、そのようにさせていただきます。

最後に、全体を通して皆さんから何かございませんでしょうか。

山崎委員。

○山崎彰則委員 前回の委員会でも、僕も少し申し上げたかなと思うんですけど、中学生になる予定の小学校高学年なんですけど、そういった子たちへのアンケートというのを、今後、ちょっと検討していただきたいなというふうに思うんですけど。

○加藤裕貴委員長 山崎委員からのご意見についてですけれども、そちらもちょっと正副委員長で、別途協議をさせていただいて、皆さんにまたご案内をさせていただきたいと思います。

それでは、傍聴でいらしている橘議員から何かございましたら、全体を通して、何かございますか。

○橘有三議員 特にございませぬ。

○加藤裕貴委員長 それでは、本日の委員会はこの程度といたしたいと思います。

次回の委員会は正副委員長の協議の上、改めてご通知いたします。

本日の委員会はこれをもって散会いたします。

午前10時28分 散会